

令和3年度 第2回地域フォーラム

奈良のまちづくりと土地利用のあり方

小さくてもキラリひかる活力あふれるまち

あんど

令和4年 1月16日

安堵町長 西本 安博

テイカカズラ(町の花)

安堵町の紹介



面積:4.31km²

人口:7,157人

**65歳以上人口:
2,495人**

世帯数:3,514世帯

(令和3年12月1日現在)

～安堵町のまちの変遷～

- 1. 農業主体のまち**
- 2. 第1次企業立地**
- 3. 第2次企業立地**
- 4. 第3次企業立地**
- 5. 第4次企業立地**

昭和30年代：農業主体のまち



稲刈りを行っている様子

西名阪自動車道

- ・昭和44年(1969年) 西名阪自動車道の完成
- ・平成26年(2014年) スマートインターチェンジの完成により
交通アクセスが向上



西名阪自動車道 大和まほろばスマートインターチェンジ

昭和40年代：第1次企業立地



第1次企業立地時に完成した安堵工業団地
面積：約14ha 5社が操業中

平成26年～：第2次企業立地



第2次企業立地において、
面積：約3ha 3社が操業中

現在：第3次企業立地



市街化区域に編入した準工業地域(安堵町岡崎地区)
面積:約10ha 1社が今年度着工予定

現在：第4次企業立地



第1次企業立地において操業した1社の部分的再開発
面積：約4ha 現在工事着手中

インフラ施設の整備

- ・県道大和郡山広陵線（JR大和路線踏切以北）の延伸整備
→国道25号線へのアクセスの強化
 - ・遊水地整備に伴うアクセス道路の整備
→安堵町の東西をつなぐ重要な路線となる
- ⇒2路線の整備により、企業立地の推進が図られる！

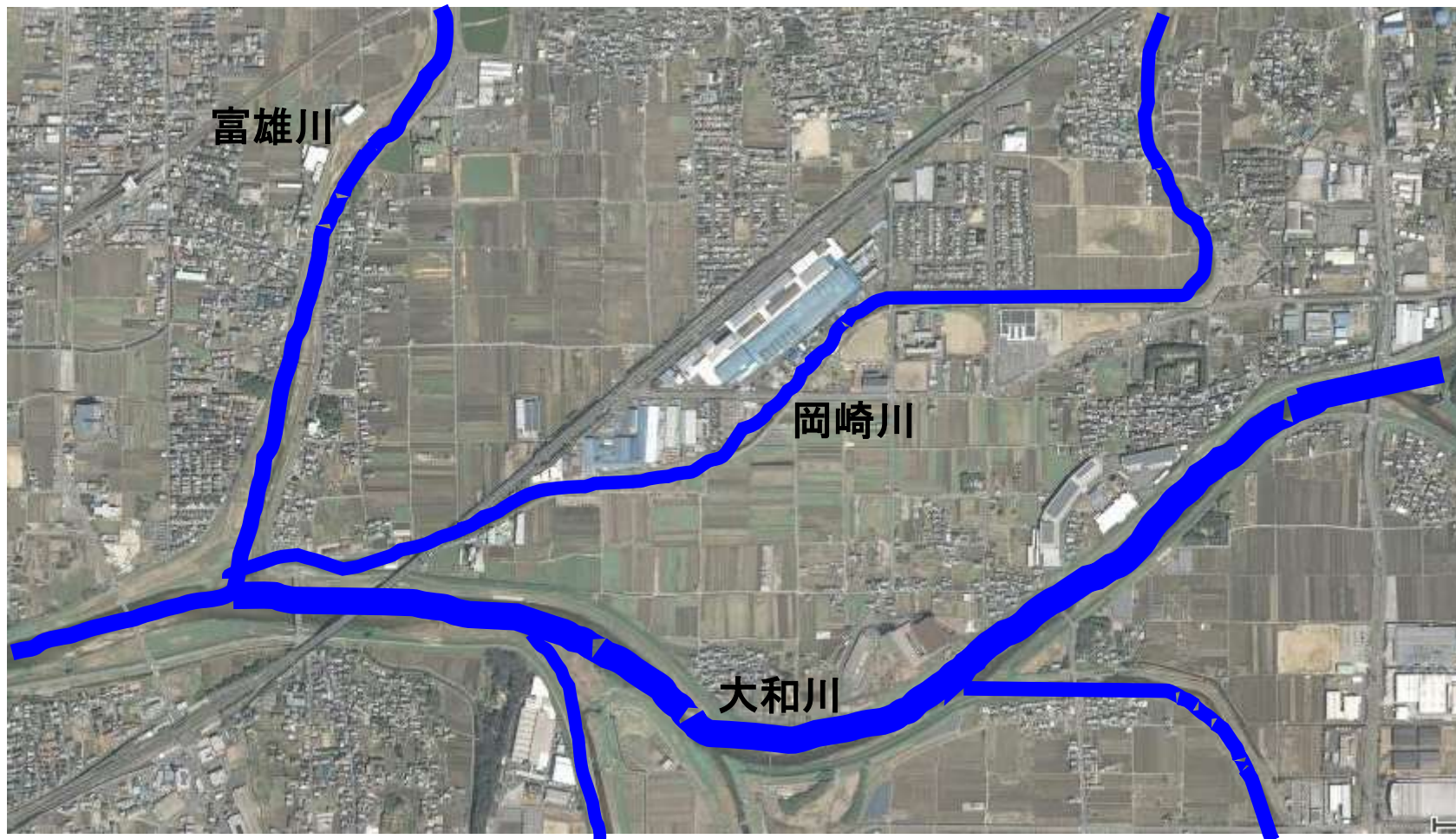


県道大和郡山広陵線の延伸整備

遊水地整備に伴うアクセス道路の整備

安堵町の土地形質

- ・安堵町：大和川・富雄川・岡崎川の3河川により形成されている



安堵町での自然災害状況

・浸水時の様子



平常時



浸水時

自然災害対策の強化

- ・国直轄事業である遊水地整備事業を国と連携し推進
- ・斑鳩町、川西町、安堵町の3町合計で面積が約60ヘクタール、容量が約180万 m^3 (内水容量含む)となる

被害の概要②(大和川水系大和川 奈良県川西町、安堵町及び斑鳩町他)  国土交通省

沿川で浸水被害が広範囲で発生。



19

※浸水の範囲は、詳細調査中のため今後変更することがあります。
※遊水地整備予定箇所については、今後の調査などにより変更することがあります。

市町村間での広域行政

- ・平成28年4月 山辺・県北西部広域環境衛生組合に加入
- ・令和 2年4月 まほろば環境衛生組合が設立
- ・令和 7年5月(予定) 山辺・県北西部広域環境衛生組合による
可燃ごみ処理施設・資源リサイクル施設稼働



ごみ処理中継施設設置予定箇所(旧:安堵町環境美化センター) 13

安堵町の文化資源

いにしへの歴史と文化の香る町



中家住宅(国指定文化財)

二重の濠をめぐる大和の環濠屋敷で、中世武士の平城式居館の姿が見られる



太子道

聖徳太子が住居のあった斑鳩宮から飛鳥まで愛馬の黒駒で通った道とされている



飽波神社(県指定文化財)

東安堵・西安堵の総鎮守社でスサノオノミコトが祀られている

安堵町の偉人たち

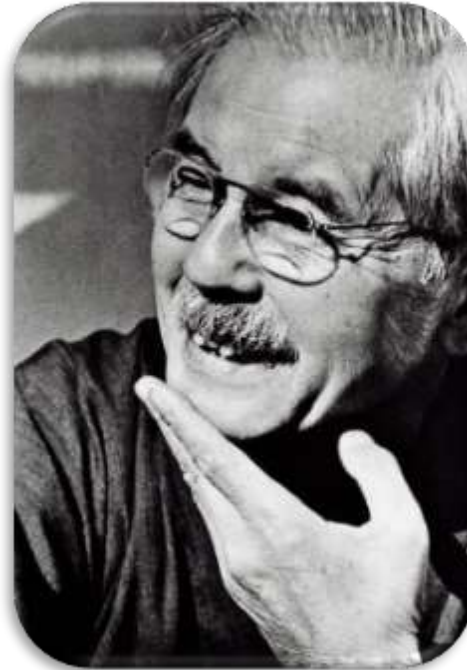
日本の近代化に貢献



今村 勤三

奈良県再設置の立役者
政治家・実業家
初代奈良県議会議長
衆議院議員として活躍

近代陶芸の巨匠



富本 憲吉

独自の模様を確立
最初の人間国宝に認定
文化勲章受章者

天賦の才で医学を牽引



今村 荒男

結核予防のBCG接種を確立
奈良県立医大初代校長
大阪大学第5代総長
文化功労者

歴史文化発信のための拠点整備

- ・令和元年8月 安堵町文化観光館「^{しべんか}四弁花」の完成
(歴史文化観光ゾーン拠点整備事業)



安堵町文化観光館 「四弁花」



かかし公園 聖徳太子像

安堵町の歴史文化施設



安堵町歴史民俗資料館(旧今村邸)

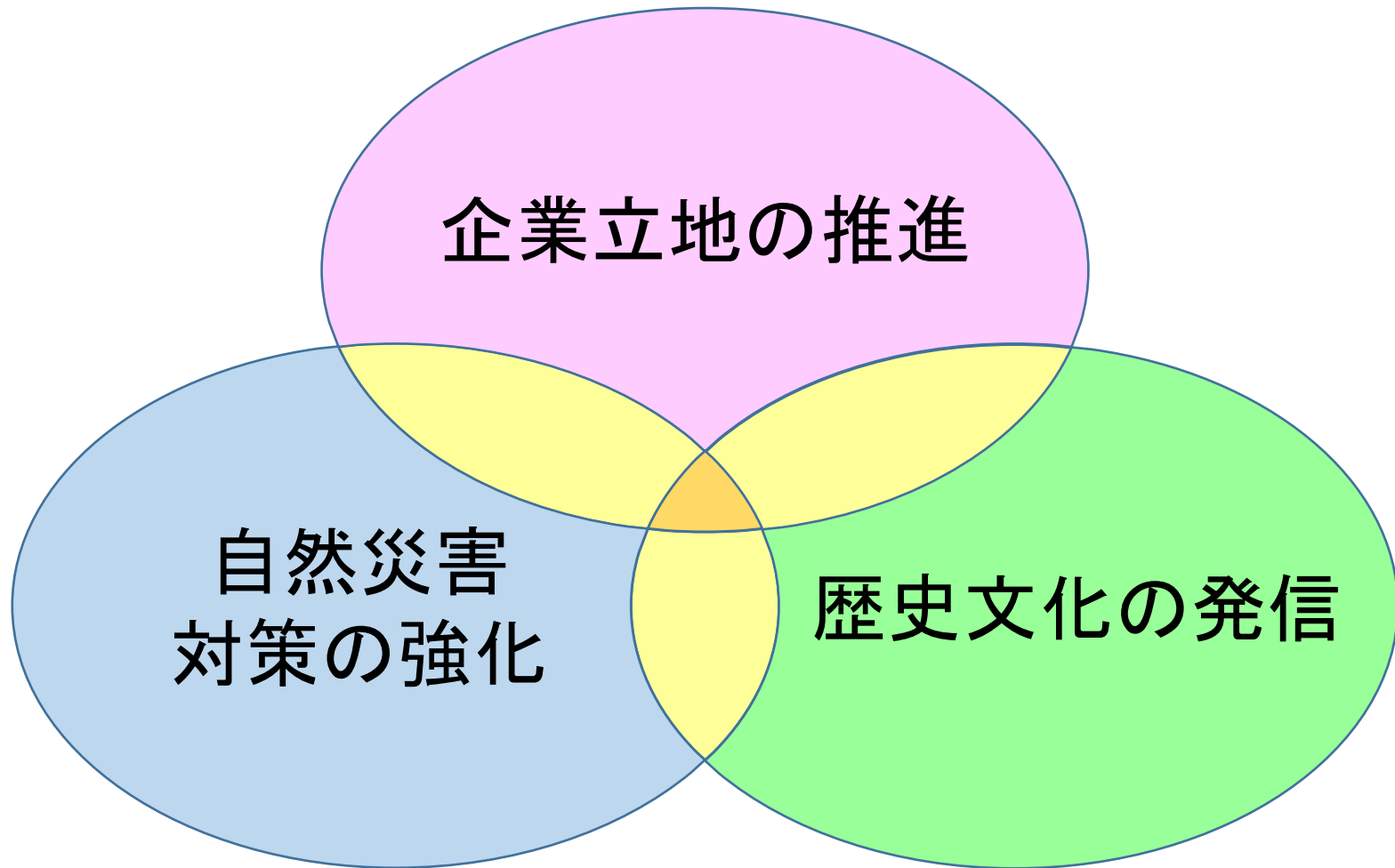


町指定無形文化財「灯芯ひき」



富本憲吉生家
(現 うぶすなの郷TOMIMOTO)

むすび



ご清聴ありがとうございました